

<< シラバス 目次 >>

1. 教養教育科目

科目番号	講義科目名称	ページ数	開講期間	配当年	単位数	科目必選
CD101B	スタートアップセミナー I	P1	前期	1年	1単位	必修
CD101C	スタートアップセミナー I	P2	前期	1年	1単位	必修
CD101D	スタートアップセミナー I	P4	前期	1年	1単位	必修
CD101E	スタートアップセミナー I	P6	前期	1年	1単位	必修
CD101F	スタートアップセミナー I	P8	前期	1年	1単位	必修
CD102B	スタートアップセミナー II	P10	後期	1年	1単位	必修
CD102C	スタートアップセミナー II	P12	後期	1年	1単位	必修
CD102D	スタートアップセミナー II	P14	後期	1年	1単位	必修
CD102E	スタートアップセミナー II	P16	後期	1年	1単位	必修
CD102F	スタートアップセミナー II	P17	後期	1年	1単位	必修
CE101A	総合人間科学	P18	前:工学部、後:D学部	1年	2単位	必修
CE102A	総合社会科学	P20	前:D学部、後:工学部	1年	2単位	必修
CE103A	体育 I	P21	前期	2年	1単位	選択
CE103B	体育 I	P23	前期	2年	2単位	選択
CE104A	体育 II	P24	後期	2年	1単位	選択
CE104B	体育 II	P26	後期	1年	1単位	選択
CE104C	体育 II	P27	後期	2年	1単位	選択
CE105A	福岡地域学	P28	前:D学部、後:工学部	1年	2単位	必修
CE106A	日本国憲法	P30	後期	2年	2単位	選択
CE107A	日本文化と社会	P32	前期	1年	2単位	留学生対象科目(必修)
CE108A	日本事情とビジネス	P33	後期	1年	2単位	留学生対象科目(必修)
CE108B	日本事情とビジネス	P35	後期	1年	2単位	留学生対象科目(必修)
CE301A	地域プロジェクト	P36	集中講義	2年	2単位	選択
CE302A	キャリアプラン I	P37	前期	2年	1単位	必修
CE302B	キャリアプラン I	P39	前期	2年	1単位	必修
CE302C	キャリアプラン I	P40	前期	2年	1単位	必修
CE302D	キャリアプラン I	P42	前期	2年	1単位	必修
CE302E	キャリアプラン I	P44	前期	2年	1単位	必修
CE302F	キャリアプラン I	P46	前期	2年	1単位	必修
CE303A	キャリアプラン II	P48	後期	2年	1単位	必修
CE303B	キャリアプラン II	P50	後期	2年	1単位	必修
CE303C	キャリアプラン II	P51	後期	2年	1単位	必修
CE303D	キャリアプラン II	P53	後期	2年	1単位	必修
CE303E	キャリアプラン II	P55	後期	2年	1単位	必修
CE303F	キャリアプラン II	P57	後期	2年	1単位	必修
CE501A	ものづくりと倫理	P59	前期	3年	2単位	選択
CE502A	キャリアデザイン I	P60	前期	3年	1単位	選択
CE502B	キャリアデザイン I	P62	前期	3年	1単位	選択
CE502C	キャリアデザイン I	P63	前期	3年	1単位	選択
CE502D	キャリアデザイン I	P65	前期	3年	1単位	選択
CE502E	キャリアデザイン I	P66	前期	3年	1単位	選択
CE502F	キャリアデザイン I	P67	前期	3年	1単位	選択
CE503A	キャリアデザイン II	P69	後期	2年	2単位	選択
CE503B	キャリアデザイン II	P71	後期	3年	1単位	選択
CE503C	キャリアデザイン II	P72	後期	3年	1単位	選択
CE503D	キャリアデザイン II	P73	後期	3年	1単位	選択
CE503E	キャリアデザイン II	P74	後期	3年	1単位	選択
CE503F	キャリアデザイン II	P75	後期	3年	1単位	選択
CF101A	経営学概論	P77	前:D学部、後:工学部	1年	2単位	選択
CF102A	情報リテラシー	P78	前期	1年	2単位	選択
CF102C	情報リテラシー	P80	前期	1年	2単位	選択
CF102D	情報リテラシー	P81	前期	1年	2単位	選択
CF102E	情報リテラシー	P83	前期	1年	2単位	選択
CG105A	中国語 I	P85	後期	1年	2単位	選択
CG106A	韓国語 I	P87	後期	1年	2単位	選択
CG107A	日本語 I	P88	前期	1年	2単位	留学生対象科目(必修)
CG108A	日本語 II	P90	後期	1年	2単位	留学生対象科目(必修)
CG109A	日本語演習 I	P92	前期	1年	1単位	留学生対象科目(必修)
CG110A	日本語演習 II	P94	後期	1年	1単位	留学生対象科目(必修)
CG111A	英語 I	P96	前期	1年	2単位	必修
CG111B	英語 I	P98	前期	1年	2単位	必修
CG111C	英語 I	P99	前期	1年	2単位	必修
CG112A	英語 I S	P101	前期	1年	2単位	必修
CG112B	英語 I S	P103	前期	1年	2単位	必修
CG112C	英語 I S	P104	前期	1年	2単位	必修
CG113A	英語 II	P105	後期	1年	2単位	必修
CG113B	英語 II	P107	後期	1年	2単位	必修
CG113C	英語 II	P108	後期	1年	2単位	必修
CG114A	英語 II S	P110	後期	1年	2単位	必修
CG114B	英語 II S	P112	後期	1年	2単位	必修
CG114C	英語 II S	P113	後期	1年	2単位	必修
CG303A	TOEIC II	P115	後期	2年	2単位	選択
CG303B	TOEIC II	P116	後期	2年	2単位	選択

科目番号	講義科目名称	ページ数	開講期間	配当年	単位数	科目必選
CG304A	中国語Ⅱ	P117	前期	2年	2単位	選択
CG305A	韓国語Ⅱ	P119	前期	2年	2単位	選択
CG306A	TOEICⅠ	P120	前期	2年	2単位	選択
CG306B	TOEICⅠ	P121	前期	2年	2単位	選択
CG307A	TOEICⅠS	P123	前期	2年	2単位	選択
CG307B	TOEICⅠS	P124	前期	2年	2単位	選択
CG501A	英会話Ⅰ	P125	前期	3年	2単位	選択
CG502A	英会話Ⅱ	P126	前期	3年	2単位	選択

授業年度	2017	シラバスNo	CG111A
講義科目名称	英語 I		
英文科目名称	English 1		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	必修
担当教員	矢野 淳		
開講意義目的	たくさんの日常会話の英語表現のテンプレートを覚え、主語・動詞・目的語・補語を入れ替えながら使いこなせるようにする。高校までのコミュニケーション英語の延長である。		
授業計画	<p>1回 オリエンテーション 今後の授業の進め方について。</p> <p>2回 長文読解1 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-have any idea / mess</p> <p>3回 長文読解2 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-be on the move</p> <p>4回 長文読解3 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-screw</p> <p>5回 長文読解4 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 仮定法仮定条件現在時制の使いこなしのポイント解説</p> <p>6回 長文読解5 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 仮定法仮定条件過去時制の使いこなしのポイント解説。</p> <p>7回 長文読解6(中間試験) 慣用表現と仮定法(その1)</p> <p>8回 長文読解7(中間テストの解説と復習) 仮定法の時制変更に応じた書き換え。</p> <p>9回 長文読解8 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 英語表現上のキャラ作りポイント解説(軍人編)</p> <p>10回 長文読解9 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 英語表現上のキャラ作りポイント解説(ヤンキー編)</p> <p>11回 長文読解10 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 英語表現上のキャラ作りポイント解説(サラリーマン編)</p> <p>12回 長文読解11 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 英語表現上のキャラ作りポイント解説(お上品編)</p> <p>13回 長文読解12 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 英語表現上のキャラ作りポイント解説(総合)</p> <p>14回 長文読解13(期末試験) 慣用表現と仮定法復習(その2)</p> <p>15回 期末試験の解説と復習 慣用表現と文法的背景を解説復習。</p>		
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	本授業は以下の教育目標との対応科目である。 1)豊かな人間性と社会人基礎力 豊かな人間性を有し、倫理観・社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい、主体的、継続的にかつ協働して取り組むことができる。		
授業の到達目標	主語、動詞、目的語、補語などを入れ替えながら多様な文章表現ができることを目指す。		
指導方法	英文和訳と文法解説の指導。例えば文法的には合っているのに意味的に間違いというケースは、英語を学ぶ際に必ずぶつかる壁である。この講義では、このような問題でも学生たちにストレスなく理解できるように、国内の人気漫画の英語版を用いて解説する。漫画のキャラクターのシチュエーションは学生たちには既知のことであるので、文法的、意味的な学習上の問題を、キャラクターたちのシチュエーションのなかで解説する。		
教科書・参考書	Black Lagoon 3.(Viz Media)		
評価方法	ペーパーテストによる。 【得点評価配分】 ペーパーテスト:70% 受講態度30%		
受講上の注意	模範文暗記に努力すること。 テキストは必ず購入すること。		
授業外における学習方法	インターネット等で知らない英単語が出てきたら、すぐに辞書を引いて意味を覚える習慣をつけること。		

能動的授業科目及び 地域志向科目	1. 能動的授業科目有無:なし 2. 能動的授業科目種類:— 3. 地域志向科目有無:なし 4. 地域志向科目内容:—
---------------------	--

授業年度	2017	シラバスNo	CG111B
講義科目名称	英語 I		
英文科目名称	English 1		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	必修
担当教員	吉永 秀之		
開講意義目的	英語の基本事項の再確認し、基本的な読み・書きの能力を養う。		
授業計画	<p>1回 オリエンテーション Pre-Unit 授業の進行・評価についての説明。</p> <p>2回 品詞と語順 Unit 1 be動詞(基本項目の確認)</p> <p>3回 Unit 1 be動詞(会話とライティングによる基本項目の応用)</p> <p>4回 Unit 2 一般動詞の現在形(基本項目の確認)</p> <p>5回 Unit 2 一般動詞の現在形(会話とライティングによる基本項目の応用)</p> <p>6回 Unit 3 可算名詞・不可算名詞(基本項目の確認)</p> <p>7回 Unit 3 可算名詞・不可算名詞(会話とライティングによる基本項目の応用)</p> <p>8回 Unit 4 代名詞(基本項目の確認)</p> <p>9回 Unit 4 代名詞(会話とライティングによる基本項目の応用)</p> <p>10回 Unit 5 一般動詞の過去形(基本項目の確認)</p> <p>11回 Unit 5 一般動詞の過去形(会話とライティングによる基本項目の応用)</p> <p>12回 Unit 6 進行形(基本項目の確認)</p> <p>13回 Unit 6 進行形(会話とライティングによる基本項目の応用)</p> <p>14回 Review Unit 1からUnit 6の復習</p> <p>15回 期末試験、試験内容の解説 期末試験およびその解説を行う。</p>		
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	<p>本授業は以下の教育目標との対応科目である。</p> <p>1)豊かな人間性と社会人基礎力 豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい主体的、継続的かつ協働して取り組むことができる。</p>		
授業の到達目標	<p>基本的な文法事項を理解できる。 読み・書きの基礎力を修得する。</p>		
指導方法	<p>ブレースメントテストによりクラス分けをする。 講義形式で行う。</p>		
教科書・参考書	<p>教科書:English Aid Robert Hickling, Misato Usukura 金星堂 参考書:なし</p>		
評価方法	<p>期末試験100%</p>		
受講上の注意	<p>辞書または電子辞書を持つてくること。</p>		
授業外における学習方法	<p>語学学習は積み重ねが重要なので、予習・復習を必ず実践すること。</p>		
能動的授業科目及び 地域志向科目	<p>1. 能動的授業科目有無:なし 2. 能動的授業科目種類:— 3. 地域志向科目有無:なし 4. 地域志向科目内容:—</p>		

授業年度	2017	シラバスNo	CG111C
講義科目名称	英語 I		
英文科目名称	English 1		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	必修
担当教員	張 栄		

開講意義目的	本講座は実践的な練習を通して、基礎的な英語リスニング能力を身につけることを目的とする。リスニングのポイントは(1)たくさん聞くこと;(2)直感的に理解すること;(3)音読みすることです。また、スラッシュリスニングやシャドーイングの訓練も強化し、英語を聞き取る力を研ぎ澄ますとともに、身近なことについて、英語による表現能力を養っていく。		
授業計画	1	Orientation ・Why should we learn English? ・How to learn?	
	2	Unit 1: A Mysterious Box * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4	
	3	Unit 2: A Typical Day for Kelly * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4	
	4	Unit 3: The Lawyer's Advice * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4	
	5	Unit 4: The Accident * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4	
	6	Unit 5: Stable Condition * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4	
	7	Unit 6: News * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4	
	8	Mini-Test (1) と解説	
	9	Unit 7: Police Interview * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4	
	10	Unit 8: Australian Connection * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4	
	11	Unit 9: Putting Off the Trip * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4	
	12	Unit 10: A Visit to the Hospital * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4	
	13	Unit 11: The Box on the News	

	<ul style="list-style-type: none"> * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4 <p>14 Unit 12: Dean's Condition</p> <ul style="list-style-type: none"> * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4 <p>15 Mini-Test (2) と解説</p>
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい主体的、継続的にかつ協働して取り組むことができる。
授業の到達目標	基本的な英語表現と文法知識を勉強し、英語による実務力、情報処理能力、表現力の取得を目標とする。
指導方法	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、教科書に沿って解説・演習形式で進める。 ・英語力を身に付けてもらうために、学外学習の時間を確保してもらう。
教科書・参考書	<p>教科書: Mystery Box: Listening for the New TOEIC Test 著者: Shari J. Berman; Alice L. Bratton; Makoto Hayasaka; Asako Akatsuka 出版社: 成美堂</p> <p>参考書: 市販の関連書</p>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参加態度(70%) ・ミニテスト(30%)
受講上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・学外の学習時間を確保できる。 ・20分以上遅れる場合は欠席とする。 ・辞書と教科書を必ず持参する。
授業外における学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・知らない単語・表現を繰り返して覚える。
能動的授業科目及び 地域志向科目	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の魅力に触れ、英語に対する興味を維持してもらい、自律的な学習態度を養う; ・自律的な学習を促すため、授業中では知的交流の場をつくるよう取り組む

授業年度	2017	シラバスNo	CG112A
講義科目名称	英語 I S		
英文科目名称	English 1S		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	必修
担当教員	矢野 淳		
開講意義目的	英語漫画を読みながら最新の英語表現を暗記することに重点を置く。たっくさんの英語表現のテンプレートを覚え、主語・動詞・目的語・補語を入れ替えながら使いこなせるようにする。高校までのコミュニケーション英語の延長である。少し長めの慣用表現を暗記する。レベル的には英語Sクラスの方が高くなる。		
授業計画	<p>1回 オリエンテーション 今後の授業の進め方など。</p> <p>2回 長文読解1 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-choiceの使用例あれこれ。</p> <p>3回 長文読解2 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-one of the ones+形容詞</p> <p>4回 長文読解3 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-丁寧に相手の都合を尋ねる。</p> <p>5回 長文読解4 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-慣用表現「やってくれたな」を英語で言うって??</p> <p>6回 長文読解5(中間テスト) 慣用表現/書き換え(その1)</p> <p>7回 長文読解6(中間テストの解説と復習) 書き換への復習。</p> <p>8回 長文読解7 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-screw</p> <p>9回 長文読解8 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-agree+with/to</p> <p>10回 長文読解9 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-runの様々な用例。</p> <p>11回 長文読解10 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-What say we~とWhat say you~</p> <p>12回 長文読解11 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-複雑に見える文型を解く。</p> <p>13回 長文読解12 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-仮定法仮定条件現在。</p> <p>14回 長文読解13(期末試験) 様々な文型 仮定法を使う。(書き換え問題)</p> <p>15回 期末試験の解説と復習。 様々なシチュエーションにおける仮定法の活用について解説復習。</p>		
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	本授業は以下の教育目標との対応科目である。 1)豊かな人間性と社会人基礎力 豊かな人間性を有し、倫理観・社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい、主体的、継続的に かつ協働して取り組むことができる。		
授業の到達目標	主語、動詞、目的語、補語などを入れ替えながら多様な文章表現ができることを目指す。		
指導方法	文法解説と実践運用の指導。例えば文法的には合っているのに意味的に間違いというケースは、英語を学ぶ際に必ずぶつかる壁である。この講義では、このような問題でも学生たちにストレスなく理解できるように、国内の人気漫画の英語版を用いて解説する。漫画のキャラクターのシチュエーションは学生たちには既知のことであり、文法的、意味的な学習上の問題を、キャラクターたちのシチュエーションのなかで解説する。		
教科書・参考書	Gunslinger Girl Omnibus Collection 1.(Seven Seas Entertainment)		
評価方法	ペーパーテストによる。 【得点評価配分】 ペーパーテスト:70% 受講態度30%		
受講上の注意	模範文暗記に努力すること。 テキストは必ず購入すること。		

授業外における学習方法	インターネット等で知らない英単語が出てきたら、すぐに辞書を引いて意味を覚える習慣をつけること。
能動的授業科目及び地域志向科目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 能動的授業科目有無: なし 2. 能動的授業科目種類: - 3. 地域志向科目有無: なし 4. 地域志向科目内容: -

授業年度	2017	シラバスNo	CG112B
講義科目名称	英語 I S		
英文科目名称	English 1S		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	必修
担当教員	吉永 秀之		
開講意義目的	英文の基本的な仕組みを理解し、それによって得た知識を読解に応用する練習を行う。		
授業計画	1回 オリエンテーション、Unit 0 授業の進め方の説明とBe動詞と一般動詞を学習する。 2回 Unit 1 否定文について学習する。 3回 Unit 2 疑問文について学習する。 4回 Unit 3 助動詞について学習する。 5回 Review 1 Unit 1からUnit 3の復習 6回 Unit 4 第1文型と第2文型について学習する。 7回 Unit 5 第3文型と第4文型について学習する。 8回 Unit 6 進行形について学習する。 9回 Review 2 Unit 4からUnit 6の復習 10回 Unit 7 受動態について学習する。 11回 Unit 8 第5文型(知覚、認識など)について学習する。 12回 Unit 9 動名詞第5文型(使役、許可、願望など)について学習する。 13回 Unit 10 完了形について学習する。 14回 Review 3 Unit 7からUnit 10の復習 15回 期末試験、試験内容の解説 これまで学習した内容で特に重要な点を復習する。		
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	本授業は以下の教育目標との対応科目である。 1) 豊かな人間性と社会人基礎力 豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい主体的、継続的かつ協働して取り組むことができる。		
授業の到達目標	コミュニケーションに必要な文法知識のより深い理解ができる。		
指導方法	プレースメントテストによりクラス分けをする。 講義形式で行う。		
教科書・参考書	教科書: First Voyage: From Grammar to Reading (大学基本英文法 & リーディング) Keiko Kimura, Kenjiro Tagawa, Edward R. Howe 著 南雲堂 参考書: なし		
評価方法	期末試験100%		
受講上の注意	辞書または電子辞書を持参すること。		
授業外における学習方法	語学学習は、毎日の積み重ねが重要なので、必ず予習と復習を行うこと。		
能動的授業科目及び 地域志向科目	1. 能動的授業科目有無: なし 2. 能動的授業科目種類: - 3. 地域志向科目有無: なし 4. 地域志向科目内容: -		

授業年度	2017	シラバスNo	CG112C
講義科目名称	英語 I S		
英文科目名称	English 1S		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	必修
担当教員	張 栄		
開講意義目的	一般企業でTOEICのスコアが重視される近年の傾向を受け、在学中にTOEICを受験して一定のスコア獲得を目指すケースが増えてきている。TOEIC Bridgeが2001年に開発され、大きな特徴として、使用されている英語がTOEICに比べて、日常的で身近であることがあげられる。本講座はTOEIC Bridgeの問題を利用して、基礎的、また実用的な英語を学び、すぐに役に立つ英語に慣れることを目標にする。また、学習者が興味を持って取り組み、英語の基礎を固めるとともに、将来のTOEICの受験の準備ができることを目		
授業計画	1 Unit 1: Shopping * Listening Section (Part 1 ~ Part 4) * Reading Section (Part 5 ~ Part 7) 2 Unit 2: Food * Listening Section (Part 1 ~ Part 4) * Reading Section (Part 5 ~ Part 7) 3 Unit 3: Health * Listening Section (Part 1 ~ Part 4) * Reading Section (Part 5 ~ Part 7) 4 Unit 4: Media * Listening Section (Part 1 ~ Part 4) * Reading Section (Part 5 ~ Part 7) 5 Unit 5: Daily Life (1) * Listening Section (Part 1 ~ Part 4) * Reading Section (Part 5 ~ Part 7) 6 Unit 6: Daily Life (2) * Listening Section (Part 1 ~ Part 4) * Reading Section (Part 5 ~ Part 7) 7 Unit 7: Travel * Listening Section (Part 1 ~ Part 4) * Reading Section (Part 5 ~ Part 7) 8 Unit 8: Office Work (1) * Listening Section (Part 1 ~ Part 4) * Reading Section (Part 5 ~ Part 7) 9 Unit 9: Office Work (2) * Listening Section (Part 1 ~ Part 4) * Reading Section (Part 5 ~ Part 7) 10 Unit 10: Meetings * Listening Section (Part 1 ~ Part 4) * Reading Section (Part 5 ~ Part 7) 11 Unit 11: Factories * Listening Section (Part 1 ~ Part 4) * Reading Section (Part 5 ~ Part 7) 12 Unit 12: Products * Listening Section (Part 1 ~ Part 4) * Reading Section (Part 5 ~ Part 7) 13 Unit 13: Technology * Listening Section (Part 1 ~ Part 4) * Reading Section (Part 5 ~ Part 7) 14 Unit 14: Job Hunting * Listening Section (Part 1 ~ Part 4) * Reading Section (Part 5 ~ Part 7) 15 Mini-test と解説		
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい主体的、継続的にかつ協働して取り組むことができる。		
授業の到達目標	基本的な英語表現と文法知識を勉強し、英語による実務力、情報処理能力、表現力の取得を目標とする。		
指導方法	・原則、教科書に沿って解説・演習形式で進める。 ・英語力を身に付けてもらうために、学外学習の時間を確保してもらう。		
教科書・参考書	教科書: Primary Practice for the TOEIC Listening and Reading Test 著者: Yumi Hasegawa; Hisayo herbert; Karl Hedberg; Ayako Kobayashi; Tomoko Tamura 出版社: 三修社 参考書: 市販の関連書		
評価方法	・授業参加態度(50%) ・ミニテスト(50%)		
受講上の注意	・学外の学習時間を確保できる。 ・20分以上遅れる場合は欠席とする。 ・辞書と教科書を必ず持参する。		
授業外における学習方法	・知らない単語・表現を繰り返して覚える。		
能動的授業科目及び 地域志向科目	・英語の魅力に触れ、英語に対する興味を維持してもらい、自律的な学習態度を養う; ・自律的な学習を促すため、授業中では知的交流の場をつくるよう取り組む		

授業年度	2017	シラバスNo	CG113A
講義科目名称	英語Ⅱ		
英文科目名称	English 2		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員	矢野 淳		
開講意義目的	英語漫画を読みながら最新の英語表現を暗記することに重点を置く。たくさんの英語表現のテンプレートを覚え、主語・動詞・目的語・補語を入れ替えながら使いこなせるようにする。高校までのコミュニケーション英語の延長である。		
授業計画	<p>1回 オリエンテーション 今後の授業の進め方など。</p> <p>2回 長文読解1 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-copusにみるsplendidの使用</p> <p>3回 長文読解2 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-something+節</p> <p>4回 長文読解3 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-現在完了</p> <p>5回 長文読解4 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-「いらんこと〜しやがって」を英語で言うとき???</p> <p>6回 長文読解5(中間テスト) 慣用表現と形容詞節の使いこなし(その1)</p> <p>7回 長文読解6(中間テストの解説と復習) 形容詞節の使いこなしの確認。 仮定法の時制変更に応じた書き換えの復習。</p> <p>8回 長文読解7 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-仮定法仮定条件現在時制と過去時制のクロスオーバー</p> <p>9回 長文読解8 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-May be we should ~ / Why don't we ~</p> <p>10回 長文読解9 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-You said it / Blow it out</p> <p>11回 長文読解10 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-「それによって私の立ち位置も変わるから」を英語で言うとき??</p> <p>12回 長文読解11 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 節で表現する: 使いこなしのポイント解説-That's just how it is where we are.</p> <p>13回 長文読解12 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-what if</p> <p>14回 長文読解13(期末テスト) 慣用表現と節で表現するという事。</p> <p>15回 期末試験の解説と復習 慣用表現と文法的背景を解説復習。</p>		
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	本授業は以下の教育目標との対応科目である。 1)豊かな人間性と社会人基礎力 豊かな人間性を有し、倫理観・社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい、主体的、継続的に かつ協働して取り組むことができる。		
授業の到達目標	主語、動詞、目的語、補語などを入れ替えながら多様な文章表現ができることを目指す。		
指導方法	文法解説と実践運用の指導。例えば文法的には合っているのに意味的に間違いというケースは、英語を学ぶ際に必ずぶつかる壁である。この講義では、このような問題でも学生たちにストレスなく理解できるように、国内の人気漫画の英語版を用いて解説する。漫画のキャラクターのシチュエーションは学生たちには既知のことであるので、文法的、意味的な学習上の問題を、キャラクターたちのシチュエーションのなかで解説する。		
教科書・参考書	Black Lagoon 3.(Viz Media)		
評価方法	ペーパーテストによる。 【得点評価配分】 ペーパーテスト:70% 受講態度30%		
受講上の注意	模範文暗記に努力すること。 テキストは必ず購入すること。		
授業外における学習方法	インターネット等で知らない英単語が出てきたら、すぐに辞書を引いて意味を覚える習慣をつけること。		

能動的授業科目及び 地域志向科目	1. 能動的授業科目有無:なし 2. 能動的授業科目種類:－ 3. 地域志向科目有無:なし 4. 地域志向科目内容:－
---------------------	--

授業年度	2017	シラバスNo	CG113B
講義科目名称	英語Ⅱ		
英文科目名称	English 2		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員	吉永 秀之		
開講意義目的	英語の基本事項の再確認し、基本的な読み・書きの能力を養う。		
授業計画	<p>1回 オリエンテーション Unit 7 授業の進行・評価についての説明。</p> <p>2回 時と場所を表す前置詞(基本事項の確認) Unit 7 時と場所を表す前置詞(会話とライティングによる基本事項の応用)</p> <p>3回 Unit 8 未来形(基本事項の確認)</p> <p>4回 Unit 8 未来形(会話とライティングによる基本事項の応用)</p> <p>5回 Unit 9 現在完了形(基本事項の確認)</p> <p>6回 Unit 9 現在完了形(会話とライティングによる基本事項の応用)</p> <p>7回 Unit 10 比較・最上級(基本事項の確認)</p> <p>8回 Unit 10 比較・最上級(会話とライティングによる基本事項の応用)</p> <p>9回 Unit 11 接続詞(基本事項の確認)</p> <p>10回 Unit 11 接続詞(会話とライティングによる基本事項の応用)</p> <p>11回 Unit 12 動名詞・不定詞(基本事項の確認)</p> <p>12回 Unit 12 動名詞・不定詞(会話とライティングによる基本事項の応用)</p> <p>13回 Unit 13 疑問詞(基本事項の確認)</p> <p>14回 Unit 13 疑問詞(会話とライティングによる基本事項の応用)</p> <p>15回 期末試験、試験内容の解説 期末試験およびその解説を行う。</p>		
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	<p>本授業は以下の教育目標との対応科目である。</p> <p>1)豊かな人間性と社会人基礎力 豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい主体的、継続的かつ協働して取り組むことができる。</p>		
授業の到達目標	<p>基本的な文法事項を理解できる。 読み・書きの基礎力を修得する。</p>		
指導方法	<p>ブレースメントテストによりクラス分けをする。 講義形式で行う。</p>		
教科書・参考書	<p>教科書: English Aid Robert Hickling, Misato Usukura 金星堂</p> <p>参考書: なし</p>		
評価方法	<p>期末試験100%</p>		
受講上の注意	<p>辞書または電子辞書を持ってくること。</p>		
授業外における学習方法	<p>語学学習は積み重ねが重要なので、予習・復習を必ず実践すること。</p>		
能動的授業科目及び 地域志向科目	<p>1. 能動的授業科目有無: なし 2. 能動的授業科目種類: - 3. 地域志向科目有無: なし 4. 地域志向科目内容: -</p>		

授業年度	2017	シラバスNo	CG113C
講義科目名称	英語Ⅱ		
英文科目名称	English 2		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員	張 栄		

開講意義目的 本講座は実践的な練習を通して、基礎的な英語リスニング能力を身につけることを目的とする。リスニングのポイントは(1)たくさん聞くこと;(2)直感的に理解すること;(3)音読みすることです。また、スラッシュリスニングやシャドーイングの訓練も強化し、英語を聞き取る力を研ぎ澄ますとともに、身近なことについて、英語による表現能力を養っていく。

授業計画	1	Orientation * How to learn English? * How to get the credit for this course?
	2	Unit 13: Not Just Australia * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4
	3	Unit 14: Medical Conditions * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4
	4	Unit 15: Out to Dinner * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4
	5	Unit 16: Dean's Missing Things * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4
	6	Unit 17: Rumors and Questions * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4
	7	Unit 18: More Pieces of the Mystery * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4
	8	Mini-Test (1) と解説
	9	Unit 19: Justin figures It Out * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4
	10	Unit 20: Kelly Meets the Roses * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4
	11	Unit 21: Back in the News * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4
	12	Unit 22: New Plans

	<ul style="list-style-type: none"> * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4
13	Unit 23: At the Airport <ul style="list-style-type: none"> * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4
14	Unit 24: On Board the Plane <ul style="list-style-type: none"> * Let's Check * Part 1 * Part 2 * Part 3 * Part 4
15	Mini-Test (2) と解説
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい主体的、継続的にかつ協働して取り組むことができる。
授業の到達目標	基本的な英語表現と文法知識を勉強し、英語による実務力、情報処理能力、表現力の取得を目標とする。
指導方法	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、教科書に沿って解説・演習形式で進める。 ・英語力を身に付けてもらうために、学外学習の時間を確保してもらう。
教科書・参考書	教科書: Listening Elements 著者: Terry O'Brien; Kei Mihara; Tomoki Nenoki; Hiroshi Kimura 出版社: 南雲堂 参考書: 市販の関連書
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参加・態度(70%) ・ミニテスト(30%)
受講上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・学外の学習時間を確保できる。 ・20分以上遅れる場合は欠席とする。 ・辞書と教科書を必ず持参する。
授業外における学習方法	・知らない単語・表現を繰り返して覚える。
能動的授業科目及び 地域志向科目	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の魅力に触れ、英語に対する興味を維持してもらい、自律的な学習態度を養う; ・自律的な学習を促すため、授業中では知的交流の場をつくるよう取り組む

授業年度	2017	シラバスNo	CG114A
講義科目名称	英語ⅡS		
英文科目名称	English 2S		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員	矢野 淳		
開講意義目的	英語漫画を読みながら最新の英語表現を暗記することに重点を置く。たくさんの英語表現のテンプレートを覚え、主語・動詞・目的語・補語を入れ替えながら使いこなせるようにする。高校までのコミュニケーション英語の延長である。少し長めの慣用表現を暗記する。レベル的には英語Sクラスの方がより高くなる。		
授業計画	<p>1回 オリエンテーション 今後の授業の進め方など。</p> <p>2回 長文読解1 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 語源を知る-古代から中世にかけてのヨーロッパと言語の動き。</p> <p>3回 長文読解2 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 文型・・・補語になるものとは。</p> <p>4回 長文読解3 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 複雑な文型を解く(1)。</p> <p>5回 長文読解4 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-Not that~を使う。</p> <p>6回 長文読解5(中間試験) 慣用表現と仮定法の復習。</p> <p>7回 長文読解6(中間テストの解説と復習) 仮定法の時制変更に応じた書き換えの復習。</p> <p>8回 長文読解7 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-that manyを使う。</p> <p>9回 長文読解8 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 複雑な文型を解く(2)</p> <p>10回 長文読解9 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-rumour has it thatを使う。</p> <p>11回 長文読解10 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-catchの熟語。</p> <p>12回 長文読解11 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-have something to do with~</p> <p>13回 長文読解12 英文和訳と文法解説 暗記事項の指示 使いこなしのポイント解説-couldの様々な使い方。</p> <p>14回 長文読解13(期末試験) 慣用表現と助動詞の使用。</p> <p>15回 期末試験の解説と復習 慣用表現と文法的背景を解説復習。</p>		
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	本授業は以下の教育目標との対応科目である。 1)豊かな人間性と社会人基礎力 豊かな人間性を有し、倫理観・社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい、主体的、継続的にかつ協働して取り組むことができる。		
授業の到達目標	主語、動詞、目的語、補語などを入れ替えながら多様な文章表現ができることを目指す。		
指導方法	文法解説と実践運用の指導。例えば文法的には合っているのに意味的に間違いというケースは、英語を学ぶ際に必ずぶつかる壁である。この講義では、このような問題でも学生たちにストレスなく理解できるように、国内の人気漫画の英語版を用いて解説する。漫画のキャラクターのシチュエーションは学生たちには既知のことであるので、文法的、意味的な学習上の問題を、キャラクターたちのシチュエーションのなかで解説する。		
教科書・参考書	Gunslinger Girl Omnibus Collection 1.(Seven Seas Entertainment)		
評価方法	ペーパーテストによる。 【得点評価配分】 ペーパーテスト:70% 受講態度30%		

受講上の注意	模範文暗記に努力すること。 テキストは必ず購入すること。
授業外における学習方法	インターネット等で知らない英単語が出てきたら、すぐに辞書を引いて意味を覚える習慣をつけること。
能動的授業科目及び 地域志向科目	1. 能動的授業科目有無:なし 2. 能動的授業科目種類:ー 3. 地域志向科目有無:なし 4. 地域志向科目内容:ー

授業年度	2017	シラバスNo	CG114B
講義科目名称	英語ⅡS		
英文科目名称	English 2S		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員	吉永 秀之		
開講意義目的	英文の基本的な仕組みを理解し、それによって得た知識を読解に応用する練習を行う。		
授業計画	1回 Unit 11 動名詞について学習する。 2回 Unit 12 不定詞について学習する(1) 3回 Unit 13 不定詞について学習する(2) 4回 Unit 14 分詞について学習する。 5回 Review 1 Unit 11からUnit 14の復習 6回 Unit 15 名詞節と副詞節について学習する。 7回 Unit 16 分詞構文について学習する。 8回 Unit 17 関係代名詞について学習する。 9回 Unit 18 関係副詞について学習する。 10回 Review 2 Unit 15からとUnit 18の復習 11回 Unit 19 比較について学習する(1) 12回 Unit 20 比較について学習する(2) 13回 Unit 21 仮定法について学習する。 14回 Review 3 Unit 19からとUnit 21の復習 15回 期末試験、試験内容の解説 期末試験およびその解説を行う。		
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	本授業は以下の教育目標との対応科目である。 1) 豊かな人間性と社会人基礎力 豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい主体的、継続的かつ協働して取り組むことができる。		
授業の到達目標	コミュニケーションに必要な文法事項のより深い理解ができる。		
指導方法	プレースメントテストによりクラス分けをする。 講義形式で行う。		
教科書・参考書	教科書: First Voyage: From Grammar to Reading (大学基本英文法 & リーディング) Keiko Kimura, Kenjiro Tagawa, Edward R. Howe 著 南雲堂 参考書: なし		
評価方法	期末試験100%		
受講上の注意	辞書または電子辞書を必ず持ってくること。		
授業外における学習方法	予習・復習を必ず実践し、毎日英語に触れるようにすること。		
能動的授業科目及び 地域志向科目	1. 能動的授業科目有無: なし 2. 能動的授業科目種類: - 3. 地域志向科目有無: なし 4. 地域志向科目内容: -		

授業年度	2017	シラバスNo	CG114C
講義科目名称	英語ⅡS		
英文科目名称	English 2S		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員	張 栄		

開講意義目的 TOEIC(トイーック)とはTest of English for International Communicationの略称で、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。世界約120ヶ国で実施され、グローバルスタンダードとして活用することができ、日本では、最も人気のある資格として注目されている。TOEIC のなかでは、ビジネスの場面で頻繁に使われている表現が多く含まれている。本講座はTOEIC に関する最新知識、学習法及びテスト対策などを説明し、日常やビジネスに関する英語

授業計画	Chapter 1	Basics for Part 1 and Part 5 * Vocabulary Quiz * Pre-part 1 * Part 1 * Part 5 (Exercise A) * Part 5 (Exercise B)
	Chapter 2	Basics for Part 2 and Part 5 (1) * Vocabulary Quiz * Pre-part 2 * Part 2 * Part 5 (Exercise A) * Part 5 (Exercise B)
	Chapter 3	Basics for Part 2 and Part 5 (2) * Vocabulary Quiz * Pre-part 2 * Part 2 * Part 5 (Exercise A) * Part 5 (Exercise B)
	Chapter 4	Basics for Part 3 and Part 5 * Vocabulary Quiz * Pre-part 3 * Part 3 * Part 5 (Exercise A) * Part 5 (Exercise B)
	Chapter 5	Basics for Part 4 and Part 5 * Vocabulary Quiz * Pre-part 4 * Part 4 * Part 5 (Exercise A) * Part 5 (Exercise B)
	Chapter 6	Basics for Part 6 and Part 5 * Vocabulary Quiz * Pre-part 6 * Part 6 * Part 5 (Exercise A) * Part 5 (Exercise B)
	Chapter 7	Basic for Part 7 and Part 5 * Vocabulary Quiz * Pre-part 7 * Part 7 * Part 5 (Exercise A) * Part 5 (Exercise B) Mini-Test (1) と解説
	Chapter 8	Strategies for Part 1 and Part 5 * Vocabulary Quiz * Strategies for Part 1 * Part 1 * Part 5 (Exercise A) * Part 5 (Exercise B)
	Chapter 9	Strategies for Part 2 and Part 5 * Vocabulary Quiz * Strategies for Part 2 * Part 2 * Part 5 (Exercise A) * Part 5 (Exercise B)
	Chapter 10	Strategies for Part 3 and Part 5 * Vocabulary Quiz * Strategies for Part 3 * Part 3 * Part 5 (Exercise A) * Part 5 (Exercise B)
	Chapter 11	Strategies for Part 4 and Part 5 * Vocabulary Quiz * Strategies for Part 4 * Part 4 * Part 5 (Exercise A) * Part 5 (Exercise B)
	Chapter 12	Strategies for Part 6 and Part 5

	<ul style="list-style-type: none"> * Vocabulary Quiz * Strategies for Part 6 * Part 6 * Part 5 (Exercise A) * Part 5 (Exercise B) <p>Chapter 13</p> <ul style="list-style-type: none"> Strategies for Part 7 and Part 5 * Vocabulary Quiz * Strategies for Part 7 * Part 7 * Part 5 (Exercise A) * Part 5 (Exercise B) Mini-Test (2) と解説
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい主体的、継続的にかつ協働して取り組むことができる。
授業の到達目標	基本的な英語表現と文法知識を勉強し、英語による実務力、情報処理能力、表現力の取得を目標とする。
指導方法	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、教科書に沿って解説・演習形式で進める。 ・英語力を身に付けてもらうために、学外学習の時間を確保してもらう。
教科書・参考書	<p>教科書: Primary Practice for the TOEIC Listening and Reading Test 著者: Yumi Hasegawa; Hisayo herbert; Karl Hedberg; Ayako Kobayashi; Tomoko Tamura 出版社: 三修社</p> <p>参考書: 市販の関連書</p>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参加態度(50%) ・ミニテスト(50%)
受講上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・学外の学習時間を確保できる。 ・20分以上遅れる場合は欠席とする。 ・辞書と教科書を必ず持参する。
授業外における学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・知らない単語・表現を繰り返して覚える。
能動的授業科目及び 地域志向科目	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の魅力に触れ、英語に対する興味を維持してもらい、自律的な学習態度を養う; ・自律的な学習を促すため、授業中では知的交流の場をつくるよう取り組む

授業年度	2017	シラバスNo	CG303A
講義科目名称	TOEIC II		
英文科目名称	TOEIC 2		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	選択
担当教員	張 栄		
開講意義目的	TOEIC(トイーック)とはTest of English for International Communicationの略称で、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。世界約120ヶ国で実施され、グローバルスタンダードとして活用することができ、日本では、最も人気のある資格として注目されている。TOEIC のなかでは、ビジネスの場面で頻繁に使われている表現が多く含まれている。本講座はTOEIC に関する最新知識、学習法及びテスト対策などを説明し、日常やビジネスに関する英語		
授業計画	1 Model Test (1) * Listening Section (Part 1 ~ Part 4)実践練習 2 Model Test (1) * Listening Section(Part 1 ~ Part 4)解釈 3 Model Test (1) * Reading Section (Part 5 ~ Part 7) 実践練習 4 Model Test (1) * Reading Section (Part 5) 解釈 5 Model Test (1) * Reading Section (Part 6) 解釈 6 Model Test (1) * Reading Section (Part 7) 解釈 7 ミニテスト(1)の実施と解説 8 Model Test (2) * Listening Section (Part 1 ~ Part 4)実践練習 9 Model Test (2) * Listening Section(Part 1 ~ Part 4)解釈 10 Model Test (2) * Reading Section (Part 5 ~ Part 7) 実践練習 11 Model Test (2) * Reading Section (Part 5) 解釈 12 Model Test (2) * Reading Section (Part 6) 解釈 13 Model Test (2) * Reading Section (Part 7) 解釈 14 ミニテスト(2)の実施と解説 15 ミニテスト(3)の実施と解説		
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい主体的、継続的にかつ協働して取り組むことができる。		
授業の到達目標	TOEICを視野に入れつつも、さまざまな生活の場面とビジネスシチュエーションで使われる表現を理解し、パターンを覚えていき、TOEICの高得点を狙う。		
指導方法	・原則、模擬テストに沿って文法・表現の解説・実践運用の形で進める		
教科書・参考書	教科書 書名：公式TOEIC Listening & Reading 問題集1 出版社：国際ビジネスコミュニケーション協会 ISBN-10: 4906033490 参考書 ・市販のTOEICについての本		
評価方法	・授業参加態度(40%) ・ミニテスト試験(60%)		
受講上の注意	・授業以外の学習時間を確保できる。 ・20分以上遅れる場合は欠席とする。 ・辞書と教科書を必ず持参する。		
授業外における学習方法	・知らない単語、慣用表現は理屈抜きで覚えまくること。 ・英語力を身に付けるために、学外学習の時間を確保してもらう。		
能動的授業科目及び 地域志向科目	・英語の魅力に触れ、英語に対する興味を維持してもらい、自律的な学習態度を養う； ・自律的な学習を促すため、授業中では知的交流の場をつくるよう取り組む		

授業年度	2017	シラバスNo	CG303B
講義科目名称	TOEIC II		
英文科目名称	TOEIC 2		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	選択
担当教員	吉永 秀之		
開講意義目的	TOEICテスト受験対策指導を行う。		
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション Unit 1 TOEICテストとその勉強法について説明 人物の描写</p> <p>第2回 Unit 2 Unit 3 物の描写 人物の動作と状況の描写</p> <p>第3回 Challenge 1 Part 1 写真描写問題の復習</p> <p>第4回 Unit 4 Unit 5 Part 2における質問の種類 WH疑問文</p> <p>第5回 Unit 6 Unit 7 Yes/No疑問文, 選択疑問文 依頼・許可・提案・勧誘の文</p> <p>第6回 Unit 8 Challenge 2 付加疑問文と否定疑問文, 肯定文と否定文 Part 2応答問題の復習</p> <p>第7回 Unit 9 Society & Life</p> <p>第8回 Unit 10 Workplace & Business</p> <p>第9回 Unit 11 Personnel & Training</p> <p>第10回 Challenge 3 Part 3会話問題の復習</p> <p>第11回 Unit 12 Telephone Messages</p> <p>第12回 Unit 13 Announcements</p> <p>第13回 Unit 14 Advertisements & Talks</p> <p>第14回 Challenge 4 Part 4説明文問題の復習</p> <p>第15回 期末試験, 試験内容の解説 期末試験およびその解説を行う。</p>		
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	<p>本授業は以下の教育目標との対応科目である。</p> <p>1)豊かな人間性と社会人基礎力 豊かな人間性を有し, 倫理観, 社会性に富む技術者, デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え, 目標に向かい主体的, 継続的かつ協働して取り組むことができる。</p>		
授業の到達目標	<p>ビジネス英語のより深い理解ができる。 TOEICテストのスコアを向上させる。</p>		
指導方法	講義形式で行う。		
教科書・参考書	<p>教科書: TOEICテスト 公式プラクティス リスニング編 一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 参考書: なし</p>		
評価方法	期末試験100%		
受講上の注意	辞書または電子辞書を持ってくること。		
授業外における学習方法	<p>予習・復習は必ず実践すること。 時間があれば, 徹底的にこのテキストを学習すること。</p>		
能動的授業科目及び 地域志向科目	<p>1. 能動的授業科目有無: なし 2. 能動的授業科目種類: - 3. 地域志向科目有無: なし 4. 地域志向科目内容: -</p>		

授業年度	2017	シラバスNo	CG304A
講義科目名称	中国語Ⅱ		
英文科目名称	Chinese 2		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員			
周 学業			

開講意義目的	<p>1、中国語の習得に通じて、中国文化の理解を深め、国際交流に役達できるように努める。 2、中国語の発音方法と表記ルールを確実なトレーニングを行い、学習者の自主勉強ができるための土台を作る。 3、基本文法の含んだ会話をトレーニングし、初歩の中国語のコミュニケーション能力を身につける。</p>		
授業計画	一回目	復習と第六課(1) 1、子音、母音復習。会話発音を復習。 2、第六課「王先生の研究室で」 (1)存在の意味を表す動詞「在」の使い方。 「有」の使い方の復習。 (2)時間限定語の位置。 (3)ポイントのまとめ (4)練習問題。 (5)本文会話の暗誦トレーニング。	
	二回目	第六課(2)第五課の発表 1、中国語Ⅰにおける文法復習。 2、第六課本文会話の暗誦トレーニング。 3、第五課口頭発表。	
	三回目	第七課(1) 1、助詞「了」の使い方。限定語としての疑問詞。助動詞「想」。 2、例文でポイントをまとめる。 3、本文会話の暗誦トレーニング。	
	四回目	第七課(2)と第六課の発表 1、練習問題。 2、第六課口頭発表。	
	五回目	第八課(1) 1、連動文。 2、前置詞「在」(存在意味を表す「在」及び「有」との比較) 3、例文でポイントを解説。	
	六回目	第八課(2) 1、第八課本文会話の暗誦トレーニング。 2、練習問題	
	七回目	第八課(3)と第七課の発表 1、本文会話の暗誦トレーニング。 2、第七課口頭発表。	
	八回目	復習2 1、「鈴木君の一日」を翻訳する。 2、講習した文法ポイントを復習する。(存在の「有」、完了の「了」)。	
	九回目	第九課(1) 1、助動詞「会」、「能」 2、形容詞「可以」 3、「会」「能」「可以」「行」などにおける「許可、許す」という意味についての異同。	
	十回目	第九課(2)と第八課の発表 1、本文会話の暗誦トレーニング。 2、練習問題。 3、第八課口頭発表。	
	十一回目	第九課(3) 1、本文会話の暗誦トレーニング。 2、第九課口頭発表。	
	十二回目	第十課 1、様態補語を引き出すための助詞「得」 2、過去の経験を表す助詞。 3、本文会話の発音練習。	
	十三回目	第十一課 1、進行を表す「在」、「在」に関する使い方のまとめ。 2、方向補語「来」「去」 3、本文会話の発音練習。 4、練習問題。	
	十四回目	第十二課	

	<p>1、「是……的」型の表現に関する過去の経験の強調形。 2、結果補語。 3、動作の回数を表す語の位置。 4、本文会話の発音練習。 5、練習問題。</p> <p>十五回目 復習3 1、「阿部さんのメール」を翻訳する。 2、講習した文法ポイントのまとめ(動詞述語文、前置詞、「在」の三つの使い方、単文のパターン) 3、定期試験の復習を指導。</p>
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	<p>本授業は以下の教育目標との対応科目である。 4)課題解決に向けて、協動的、自立的、継続的に行動するためのプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を高めることができる。(技能・表現)</p>
授業の到達目標	<p>学習完了する段階で、本場の中国語発音を把握でき、簡単な交流に支障のない表現を身に付き、新しい単語を入れ替えただけで、音声で交流できる。 辞書を借りながら、新聞記事程度の文章が読めるようになる。</p>
指導方法	<p>音声トレーニング、発表、テスト、試験。</p>
教科書・参考書	<p>教科書:『はじめまして中国語』白水社喜多山幸子・鄭幸枝著。 参考書:『中日辞書』(各社)</p>
評価方法	<p>授業参加・態度(50%) 定期試験(50%)</p>
受講上の注意	<p>積極的発表に参加することが大きく評価される。 オフィスアワー:授業終了後に教室にて質問を受け付ける。</p>
授業外における学習方法	<p>インターネットを利用して、中国語サイトを見ることもいい勉強となる。 中国語のキーワードで検索エンジンでも検索してみよう。</p>
能動的授業科目及び 地域志向科目	<p>・能動的授業科目有無:なし 能動的授業科目種類:— ・地域志向科目有無:なし 地域志向科目内容:—</p>

授業年度	2017	シラバスNo	CG305A
講義科目名称	韓国語Ⅱ		
英文科目名称	Korean 2		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員	黄 昞峻		
開講意義目的	韓国発の多くの大衆文化が流入されている現在、若者の韓国語学習に対するニーズも高まりつつある。多くは文学的な側面よりはコミュニケーションツールとしての実用的な学習を求めていると考えられる。		
授業計画	<p>1回 オリエンテーション 韓国語2について、文字と発音、基本文型及び表現など、韓国語1の復習</p> <p>2回 敬語体の終結形叙述格助詞、補助詞等 (名詞)です・ですか、助詞「～は」について学ぶ</p> <p>3回 敬語体の終結語尾、目的格助詞等 動詞・形容詞+です・ますについて学ぶ</p> <p>4回 体言の否定形、指示・疑問代名詞、主格助詞 ～ではありません(か)、指示・疑問代名詞と助詞「～が」について学ぶ</p> <p>5回 親しみのある終結語尾 「(名詞)です」の親しみのある丁寧形と位置や場所を表す表現を学ぶ</p> <p>6回 敬語 「動詞の敬語体、敬語的な意味を持つ単語」について学ぶ</p> <p>7回 日常表現と韓国人の意識や習慣 日常生活表現からみえる韓国人の意識と習慣について学ぶ</p> <p>8回 中間まとめ 中間まとめと基本単語テスト</p> <p>9回 用言の親しみのある終結語尾① 用言(動詞、形容詞、存在詞、指定詞)の親しみのある丁寧形について学ぶ</p> <p>10回 用言の親しみのある終結語尾② 用言(動詞、形容詞、存在詞、指定詞)の親しみのある丁寧形の不規則を学ぶ</p> <p>11回 現在進行形と過去形 動作と状態を表す現在進行形と過去形についても学習する</p> <p>12回 数字 漢数字と固有数字について学ぶ</p> <p>13回 用言の否定形 用言(動詞・形容詞)の否定形について学ぶ</p> <p>14回 様々な表現 勧誘・意志・推量等の表現について学ぶ</p> <p>15回 総まとめ 期末試験の実施</p>		
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	本授業は以下の教育目標との対応科目である。 4)課題解決に向けて、協調的、自立的、継続的に行動するためのプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を高めることができる。(技能・表現)		
授業の到達目標	コミュニケーションツールとしての実用的な学習のため、日常生活によく使われる語彙や表現、文法を習得する。なお、会話練習を通じて自然な会話ができるようにする。		
指導方法	単なる表現や文法を学ぶだけでなく、その背景にある韓国の文化を理解しながら学習を行う。また、実際に使えるように積極的に会話練習を行う。		
教科書・参考書	教科書:なし(毎回プリント配布) 参考書:「ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典」小学館		
評価方法	授業態度・学習意欲(10点)、中間テスト(20点)、定期試験(70点)により総合的に評価する。(授業の1/3以上の欠席者は評価対象から外される。)		
受講上の注意	授業中の私語、筆記道具の不持参は減点される。 オフィスアワー:授業終了後に教室にて質問を受け付ける。		
授業外における学習方法	毎回の授業には例文や新しい単語を載せているので、事前に読み方や単語の意味を調べる。なお、毎回配布するプリントには課題が載っているので行うこと。		
能動的授業科目及び 地域志向科目	・能動的授業科目有無:なし 能動的授業科目種類:一 ・地域志向科目有無:なし 地域志向科目内容:一		

授業年度	2017	シラバスNo	CG306A
講義科目名称	TOEIC I		
英文科目名称	TOEIC 1		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員	吉永 秀之		
開講意義目的	TOEIC BridgeとTOEICの受験対策と実用的な英語力の向上。		
授業計画	<p>1回 オリエンテーション、Unit 1 授業の進め方の説明 Eating Out be動詞について学習する。</p> <p>2回 Unit 2 Travel 一般動詞について学習する。</p> <p>3回 Unit 3 Amusement 品詞について学習する。</p> <p>4回 Unit 4 Meetings 自動詞・他動詞について学習する。</p> <p>5回 Unit 5 Personnel 受動態について学習する。</p> <p>6回 Unit 6 Shopping 代名詞について学習する。</p> <p>7回 Unit 7 Advertisement 教えられる名詞・教えられない名詞について学習する。</p> <p>8回 Unit 8 Daily Life 数量詞について学習する。</p> <p>9回 Unit 9 Office Work To不定詞について学習する。</p> <p>10回 Unit 10 Business 動名詞について学習する。</p> <p>11回 Unit 11 Traffic 助動詞について学習する。</p> <p>12回 Unit 12 Finance and Banking 前置詞について学習する。</p> <p>13回 Unit 13 Media 接続詞について学習する。</p> <p>14回 Unit 14 Health and Welfare 比較について学習する。</p> <p>15回 期末試験、試験内容の解説 期末試験およびその解説をおこなう。</p>		
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	<p>本授業は以下の教育目標との対応科目である。</p> <p>1) 豊かな人間性と社会人基礎力 豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい主体的、継続的かつ協働して取り組むことができる。</p>		
授業の到達目標	TOEIC BridgeやTOEICの問題に慣れ親しみ、問題を解くことができるようになる。		
指導方法	講義形式で行う。		
教科書・参考書	<p>教科書: Crossing the TOEIC Bridge(ブリッジから始めるTOEICテスト) Shiho Hayashi, Harumi Nishida, Brian Covert 著 朝日出版社</p> <p>参考書: なし</p>		
評価方法	期末試験100%		
受講上の注意	辞書または電子辞書を持参すること。		
授業外における学習方法	語学学習は、毎日の積み重ねが重要なので、必ず予習と復習を行うこと。		
能動的授業科目及び 地域志向科目	<p>1. 能動的授業科目有無: なし</p> <p>2. 能動的授業科目種類: -</p> <p>3. 地域志向科目有無: なし</p> <p>4. 地域志向科目内容: -</p>		

授業年度	2017	シラバスNo	CG306B
講義科目名称	TOEIC I		
英文科目名称	TOEIC 1		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員	張 栄		

開講意義目的	<p>一般企業でTOEICのスコアが重視される近年の傾向を受け、在学中にTOEICを受験して一定のスコア獲得を目指すケースが増えてきている。TOEIC Bridgeが2001年に開発され、大きな特徴として、使用されている英語がTOEICに比べて、日常的で身近であることがあげられる。本講座はTOEIC Bridgeの問題を利用して、基礎的、また実用的な英語を学び、すぐに役に立つ英語に慣れることを目標にする。また、学習者が興味を持って取り組み、英語の基礎を固めるとともに、将来のTOEICの受験の準備ができることを目</p>
--------	--

授業計画	<p>1 Orientation ・What is Toeic Bridge? ・How to learn?</p> <p>2 Unit 1 ・Warm-up 1 ・Warm-up 2 ・Warm-up 3 ・Vocabulary ・Exercise(1) ・Exercise(2) ・Further Activity</p> <p>3 unit 2 ・Warm-up 1 ・Warm-up 2 ・Warm-up 3 ・Vocabulary ・Exercise(1) ・Exercise(2) ・Further Activity</p> <p>4 Unit 3 ・Warm-up 1 ・Warm-up 2 ・Warm-up 3 ・Vocabulary ・Exercise(1) ・Exercise(2) ・Further Activity</p> <p>5 Unit 4 ・Warm-up 1 ・Warm-up 2 ・Warm-up 3 ・Vocabulary ・Exercise(1) ・Exercise(2) ・Further Activity</p> <p>6 Unit 5 ・Warm-up 1 ・Warm-up 2 ・Warm-up 3 ・Vocabulary ・Exercise(1) ・Exercise(2) ・Further Activity</p> <p>7 Unit 6 ・Warm-up 1 ・Warm-up 2 ・Warm-up 3 ・Vocabulary ・Exercise(1) ・Exercise(2) ・Further Activity</p> <p>8 Unit 7 ・Warm-up 1 ・Warm-up 2 ・Warm-up 3 ・Vocabulary ・Exercise(1) ・Exercise(2) ・Further Activity</p> <p>9 Unit 8 ・Warm-up 1 ・Warm-up 2 ・Warm-up 3 ・Vocabulary ・Exercise(1) ・Exercise(2) ・Further Activity</p> <p>10 Unit 9</p>
------	---

	<ul style="list-style-type: none"> •Warm-up 1 •Warm-up 2 •Warm-up 3 •Vocabulary •Exercise(1) •Exercise(2) •Further Activity
11	Unit 10 <ul style="list-style-type: none"> •Warm-up 1 •Warm-up 2 •Warm-up 3 •Vocabulary •Exercise(1) •Exercise(2) •Further Activity
12	Unit 11 <ul style="list-style-type: none"> •Warm-up 1 •Warm-up 2 •Warm-up 3 •Vocabulary •Exercise(1) •Exercise(2) •Further Activity
13	Unit 12 <ul style="list-style-type: none"> •Warm-up 1 •Warm-up 2 •Warm-up 3 •Vocabulary •Exercise(1) •Exercise(2) •Further Activity
14	Unit 13 <ul style="list-style-type: none"> •Warm-up 1 •Warm-up 2 •Warm-up 3 •Vocabulary •Exercise(1) •Exercise(2) •Further Activity
15	Unit 14 <ul style="list-style-type: none"> •Warm-up 1 •Warm-up 2 •Warm-up 3 •Vocabulary •Exercise(1) •Exercise(2) •Further Activity
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい主体的、継続的にかつ協働して取り組むことができる。
授業の到達目標	基本的な英語表現と文法知識を勉強し、英語による実務力、情報処理能力、表現力の取得を目標とする。
指導方法	<ul style="list-style-type: none"> •原則、教科書に沿って解説・演習形式で進める。 •英語力を身に付けてもらうために、学外学習の時間を確保してもらう。
教科書・参考書	教科書： TOEIC Bridge: Training Tips 著者： Yoshiki Takayama 出版社： 南雲堂 参考書： 市販の関連書
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> •授業参加態度(70%) •ミニテスト(30%)
受講上の注意	<ul style="list-style-type: none"> •学外の学習時間を確保できる。 •20分以上遅れる場合は欠席とする。 •辞書と教科書を必ず持参する。
授業外における学習方法	<ul style="list-style-type: none"> •知らない単語・表現を繰り返して覚える。 •英文を毎日聞くようにする。
能動的授業科目及び 地域志向科目	<ul style="list-style-type: none"> •英語の魅力に触れ、英語に対する興味を維持してもらい、自律的な学習態度を養う； •自律的な学習を促すため、授業中では知的交流の場をつくるよう取り組む

授業年度	2017	シラバスNo	CG307A
講義科目名称	TOEIC I S		
英文科目名称	TOEIC 1S		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員	吉永 秀之		
開講意義目的	TOEICの受験対策と実用的な英語力の向上。		
授業計画	1回 オリエンテーション、Pre-test 授業の進め方の説明 プレテストに挑戦する。 2回 Unit 1 オフィスで: 自動詞と他動詞 3回 Unit 2 買い物: 形容詞・副詞・前置詞 4回 Unit 3 食事: 名詞と冠詞 5回 Unit 4 観光: 進行形 6回 Unit 5 宣伝・広告: 完了形 7回 Unit 6 数字: 不定詞 8回 Unit 7 日常生活: 動名詞 9回 Unit 8 エンターテインメント: 関係代名詞と関係副詞 10回 Unit 9 交通: 複文 11回 Unit 10 職業: 受動態 12回 Unit 11 いろいろな国の英語1: 分詞 13回 Unit 12 いろいろな国の英語2: 比較表現 14回 Post-test ポストテストに挑戦する。 15回 期末試験、試験内容の解説 期末試験およびその解説を行う。		
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	本授業は以下の教育目標との対応科目である。 1) 豊かな人間性と社会人基礎力 豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい主体的、継続的かつ協働して取り組むことができる。		
授業の到達目標	TOEICの問題に慣れ親しみ、基本的な問題を確実に解くことができるようになる。		
指導方法	講義形式で行う。		
教科書・参考書	教科書: THE TOEIC TEST TRAINER TARGET 350 Masami Tanabe, Kumiko Yumoto, Geoffrey Tozer, George W. Pifer 著 CENGAGE Learning 参考書: なし		
評価方法	期末試験100%		
受講上の注意	辞書または電子辞書を持参すること。		
授業外における学習方法	語学学習は、毎日の積み重ねが重要なので、必ず予習と復習を行うこと。		
能動的授業科目及び 地域志向科目	1. 能動的授業科目有無: なし 2. 能動的授業科目種類: - 3. 地域志向科目有無: なし 4. 地域志向科目内容: -		

授業年度	2017	シラバスNo	CG307B
講義科目名称	TOEIC I S		
英文科目名称	TOEIC 1S		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員	張 栄		
開講意義目的	TOEIC(トイーック)とはTest of English for International Communicationの略称で、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。世界約120ヶ国で実施され、グローバルスタンダードとして活用することができ、日本では、最も人気のある資格として注目されている。TOEIC のなかでは、ビジネスの場面で頻繁に使われている表現が多く含まれている。本講座はTOEIC に関する最新知識、学習法及びテスト対策などを説明し、日常やビジネスに関する英語		
授業計画	1 オリエンテーション * TOEICについて * 英語の学習方法について * 単位の取得について 2 Model Test (1) * Listening Section (Part 1 ~ Part 4)実践練習 3 Model Test (1) * Listening Section(Part 1 ~ Part 4)解釈 4 Model Test (1) * Reading Section (Part 5 ~ Part 7) 実践練習 5 Model Test (1) * Reading Section (Part 5) 解釈 6 Model Test (1) * Reading Section(Part 6) 解釈 7 Model Test (1) * Reading Section(Part 7) 解釈 8 ミニテスト(1)の実施と解説 9 Model (2) * Listening Section (Part 1 ~ Part 4)実践練習 10 Model Test (2) * Listening Section(Part 1 ~ Part 4)解釈 11 Model Test (2) * Reading Section (Part 5 ~ Part 7) 実践練習 12 Model Test (2) * Reading Section (Part 5) 解釈 13 Model Test (2) * Reading Section (Part 6) 解釈 14 Model Test (2) * Reading Section (Part 7) 解釈 15 ミニテスト(2)の実施と解説		
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい主体的、継続的にかつ協働して取り組むことができる。		
授業の到達目標	TOEICを視野に入れつつも、さまざまな生活の場面とビジネスシチュエーションで使われる表現を理解し、パターンを覚えていき、TOEICの高得点を狙う。		
指導方法	・原則、模擬テストに沿って文法・表現の解説・実践運用の形で進める		
教科書・参考書	教科書 書名：TOEICテスト公式問題集 新形式問題対応編 出版社：一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会 ISBN-13: 978-4906033485 参考書 ・市販のTOEICについての本		
評価方法	・授業参加態度(40%) ・ミニテスト(60%)		
受講上の注意	・授業以外の学習時間を確保できる。 ・20分以上遅れる場合は欠席とする。 ・辞書と教科書を必ず持参する。		
授業外における学習方法	・知らない単語、慣用表現は理屈抜きで覚えまくること。 ・英語力を身に付けるために、学外学習の時間を確保してもらおう。		
能動的授業科目及び 地域志向科目	・英語の魅力に触れ、英語に対する興味を維持してもらい、自律的な学習態度を養う； ・自律的な学習を促すため、授業中では知的交流の場をつくるよう取り組む		

授業年度	2017	シラバスNo	CG501A
講義科目名称	英会話 I		
英文科目名称	English Conversation 1		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	選択
担当教員	マイケル バーグ		
開講意義目的	初級英会話の内容を中心として、話せる基礎文型を学び、日常に使われる表現を身に付けてもらう。		
授業計画	1回 General Introduction Ice breaker activity and understanding the syllabus 2回 Unit 1 Talking about your home town 3回 Unit 2 Talking about movies and giving opinions. 4回 Unit 3 Talking about art and giving opinions 5回 Unit 4 Talking about your family and describing them 6回 Unit 5 Talking about fears, and using related expressions 7回 Unit 6 Talking about commuting, and learning how to complain appropriately. 8回 Unit 8 and prepare for next week's presentation. Making excuses and discussing health. 9回 Presentations. Students perform an academic presentation in groups for the class. 10回 Unit 7 Telling personal stories, and describing close calls. 11回 Unit 12 Talking about making plans, parties and related expressions, and things that annoy them. 12回 Unit 15 Talking about lucky experiences and responding appropriately 13回 Unit 16 and prepare for presentation 2 next week Discussing dreams, the future and goals. 14回 Students perform presentation 2, and receive an outline for the final exam Students perform a play/conversation that they wrote and memorized for the class. 15回 Final exam Students write the final exam, followed by the review of it.		
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	本授業は以下の教育目標との対応科目である。 1) 豊かな人間性と社会人基礎力 豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい主体的、継続的かつ協働して取り組むことができる。		
授業の到達目標	英語の基本的な単語を用いて意思の疎通ができる。		
指導方法	リスニングドリル、パターンプラクティス、ロールプレーを中心に行う。		
教科書・参考書	教科書: Impact Conversation 1 - Kristen Sullivan & Todd Beuckens. Pearson/Longman 参考書: なし		
評価方法	テスト30% 授業態度30% 発表やレポート40%		
受講上の注意	本講義は、中学校一種免許状(数学)及び高等学校一種免許状(数学、工業、情報)の教職に関する科目(教養に関する科目)の「外国語コミュニケーション」区分の選択必修科目に該当する。 無断欠席厳禁		
授業外における学習方法	予習・復習を必ず行うこと。		
能動的授業科目及び 地域志向科目	1. 能動的授業科目有無: なし 2. 能動的授業科目種類: - 3. 地域志向科目有無: なし 4. 地域志向科目内容: -		

授業年度	2017	シラバスNo	CG502A
講義科目名称	英会話Ⅱ		
英文科目名称	English Conversation 2		
開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	選択
担当教員	マイケル バーグ		
開講意義目的	初級英会話の内容を中心として、話せる基礎文型を学び、日常に使われる表現を身に付けてもらう。		
授業計画	1回 General Introduction Ice breaker activity:warm up game and welcoming activity 2回 Unit 8 Making excuses and talking about health 3回 Unit 9 Talking about relationships and consoling 4回 Unit 10 Talking about shopping and things to do in free time 5回 Unit 11 Talking about homesickness and adjusting to new situations 6回 Unit 13 Discussing national stereotypes and agreeing/disagreeing 7回 Unit 15 Discussing lucky experiences and emphathizing expressions 8回 Presentation preparation Students are put in groups and write/practice a play 9回 Presentations. Students preform presentations and reflect on them after 10回 Unit 16 Talking about goals and dreams for the future 11回 Unit 14 Discussing skill levels in general, and cooking 12回 Presentation Practice Students are put in groups and write/practice a play for the following week 13回 Presentations Students perform their plays and reflect on them afterwards 14回 Review We review the semester, and students receive a final exam outline 15回 Final exam Students write the final exam, followed by the review of it.		
教育目標との対応 (カリキュラムマップ対応)	本授業は以下の教育目標との対応科目である。 1) 豊かな人間性と社会人基礎力 豊かな人間性を有し、倫理観、社会性に富む技術者、デザイナーとしてコミュニケーション能力を備え、目標に向かい主体的、継続的かつ協働して取り組むことができる。		
授業の到達目標	英語の基本的な単語を用いて意思の疎通ができる。		
指導方法	リスニングドリル、パターンプラクティス、ロールプレーを中心に行う。		
教科書・参考書	教科書:Impact Conversation 1 - Kristen Sullivan & Todd Beuckens. Pearson/Longman 参考書:なし		
評価方法	テスト30% 授業態度30% 発表やレポート40%		
受講上の注意	本講義は、中学校一種免許状(数学)及び高等学校一種免許状(数学、工業、情報)の教職に関する科目(教養に関する科目)の「外国語コミュニケーション」区分の選択必修科目に該当する。 無断欠席厳禁		
授業外における学習方法	予習・復習を必ず行うこと。		
能動的授業科目及び地域志向科目	1. 能動的授業科目有無:なし 2. 能動的授業科目種類:一 3. 地域志向科目有無:なし 4. 地域志向科目内容:一		